

私たちは

『明るい豊かなまちづくり』

を目指す20～40歳の青年の集まりです。

青年会議所は

下記の**三つの信条(理念)**をもとに活動しています。

奉仕



社会奉仕・ボランティア

修練

三信条

友情



自己を高める修練



かけがえのない仲間作り

船橋青年会議所のあゆみ

1970年代

1970年、有志65名によって、船橋青年会議所が設立。
1974年から市立養護学校設立(現・市立船橋特別支援学校)の為、その資金を一助とすべく、チャリティーオークションを開催。同年に公益信託制度「コミュニティファンド さざんか募金」を開始、さざんか募金運動推進協議会を設置。

1980年代

1980年、創立10周年記念事業として、船橋駅構内に「さざんかさっちゃん」の銅像を設置。
1985年、仮面フェスティバルを行ない3000名もの市民が参加。



1990年代



1990年、創立20周年記念事業としてサッポロビール工場にて「遊海なふれあいフェスティバル」を開催。

1995年、阪神淡路大震災被災者へ向け、多くの

市民の協力を得て阪神大震災義援バザーを開催し、義援金を届けた。

1999年、30周年記念事業として、現在の「ふなばし健康まつり」を企画している「ふなばし健やかプラン21」の前身である「草の根連絡協議会(Funabashi Web)」を立ち上げた。

2000年代



2000年、「日本一の感動」をテーマに「富士登山」を行ない、青少年に多くの感動を与えた。

また、三遊亭楽太郎、テリー伊藤、ダニエル・カ

ール、櫻井よしこ、義家弘介、高橋克典ら著名な講師による講演も多数開催。

2009年、創立40周年記念事業として、船橋市内を4泊5日かけて100km完歩した。また、「道州制度を見据えた船橋のかたち」について、シンポジウムを開いた。



現在

いつの時代も今を築く、青年だけが持つ新しい力を全力でそそぎ、活動しています。



さざんか募金運動

JR船橋駅にある「さざんかさっちゃん像」は募金箱。1980年に船橋青年会議所が「さざんかさっちゃん教育基金奨学生」制度等の為に作成。